



Deutsche Messe



2026年2月3日

合同会社International Linkage
ドイツメッセ日本代表

世界の製造業をリードする産業見本市 「HANNOVER MESSE 2026」

製造業の未来を変える技術移転と研究成果が一堂に

ホール11で、AI・新素材・量子技術からスタートアップ200社まで最新動向を紹介

■研究とモノづくりが会える場所

製造業企業が競争力を維持するには、技術移転が不可欠です。これは、研究によって新たなデジタルツール、革新的な素材、拡張性のある生産プロセスを活用できるようになるからです。ハノーバーメッセは理論と実践を結びつけ、産業界、科学界、政界間の協力関係を促進します。

ハノーバーメッセは2026年4月20日から24日まで開催されます。世界最大級の製造業向け見本市として、自動化、デジタル化からエネルギーシステム、研究開発まで、産業変革のためのあらゆる主要技術を紹介します。3つの主要展示クラスターのひとつ、ホール11の「Research & Technology Transfer(研究と技術移転)」では、研究機関、大学、新興企業、起業家が、現在および将来の製造に関するイノベーション、プロジェクト、および試作モデルを紹介します。同エリアの中心は、お「Research & Technology Transfer(研究と技術移転)」および「スタートアップ」の2つです。

ここでは、産業界における基礎的・応用的研究の成果、および市場投入準備の整った技術の産業用途への移転に注目します。来場者は、AI、バイオニクス、インテリジェントテキスタイル、ナノテクノロジー、新素材、および量子テクノロジーなどの分野における画期的な進歩を実感できます。また、アディティブ・マニファクチャリング（3Dプリンティングのような付加製造）、再生可能エネルギー、グリーン水素、軽量構造、ロボット工学といったトピックとの直接的な相乗効果も期待できます。

「AI、協働ロボット、極めて高い耐久性を備えた超軽量素材などの進歩は、製造業における研究開発の重要性を浮き彫りにしています。これらの技術により、工場やプラントにおける効率的で正確な省エネルギープロセスが実現します」

「ハノーバーメッセでは、こうした画期的技術をはじめ、多くの技術革新をご紹介します。来場

者は、隣接する『Automation & Digitalization (自動化とデジタル化)』、『Energy & Industrial Infrastructure (エネルギーと産業インフラ)』の各展示エリアで、新たな進歩や今後期待される進展をどのように統合するかについて知ることができます。ホール11は、実績のある企業、団体、政治組織、メディア、投資会社の関係者が、市場に投入する準備が整った新たな研究成果や将来のパートナー候補を見出すのに最適な場所となっています」と、ハノーバーメッセの「Research & Technology Transfer(研究と技術移転)」担当プロジェクト・ディレクターのアイリス・モーザー (Iris Moser, project director of research and technology transfer at HANNOVER MESSE) は説明します。

出展団体：バイエルン・イノバティブ、ドイツ経済エネルギー省、ドイツ人工知能研究センター (DFKI)、ドイツ航空宇宙センター (DLR)、フラウンホーファー研究機構、カールスルーエ工科大学、ベルリン工科大学、他

■スタートアップ：200社以上の新興企業がもたらすインスピレーション

スタートアップ企業は、イノベーションを迅速に実施し、既存企業の近代化を促す新技術を導入することにより、業界を前進させます。また、こうした企業は、競争を促進し、雇用を創出するとともに、マーケットリーダーになる可能性も秘めています。ホール11の「スタートアップエリア」には、200社超の新興企業が出展しています。その製品は、エネルギー管理や予知保全ソフトウェアから、AI制御型製造プラットフォーム、小型衛星を地球低軌道に輸送する世界初の再利用可能システムまで、多岐にわたります。プログラムには、ピッチ（事業提案会）、特別講座、交流イベントも含まれています。

【本件に関するお問い合わせ先】

合同会社 International Linkage ドイツメッセ日本代表：竹生
東京都世田谷区玉川 3-20-2 マノア玉川第 3 ビル 501
TEL：080-1396-9902、または 03-6403-5817